

防災情報伝達事業の現地実証の概要

実施期間 2020年1月23日（木）～2020年3月末（予定※）
（※）実証結果次第で4月以降も継続する可能性あり

対象エリア 福岡県朝倉郡東峰村村内

実証概要 当社が今回開発したシステムを上記対象エリアの電柱計6箇所
に設置し、現行の防災行政無線と比べ、放送内容の聞こえ方がど
の程度改善されたかなどを評価

特 徴

（1）場所の選択性

お住まいの近くに面的にある当社電柱に設置したスピーカーを地図上で選択することで、情報を伝達したい地区への放送が可能

（2）伝達の切迫性

災害の発生が予想される場所に、最寄りの電柱から、その場所に応じた災害情報を放送できるため、避難情報等の切迫感が伝わる

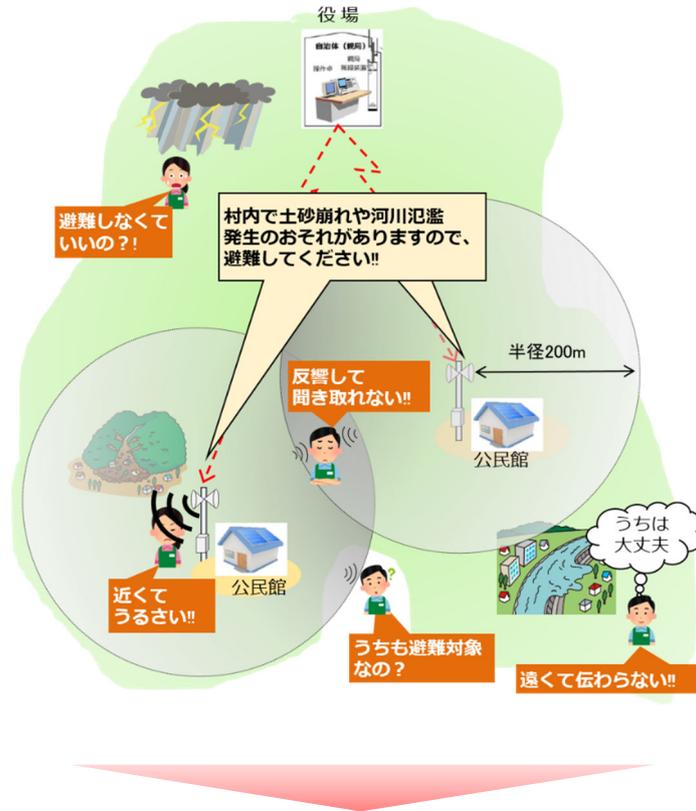
（3）音声の品質

情報を伝達したい地区に限定した適音での放送が可能

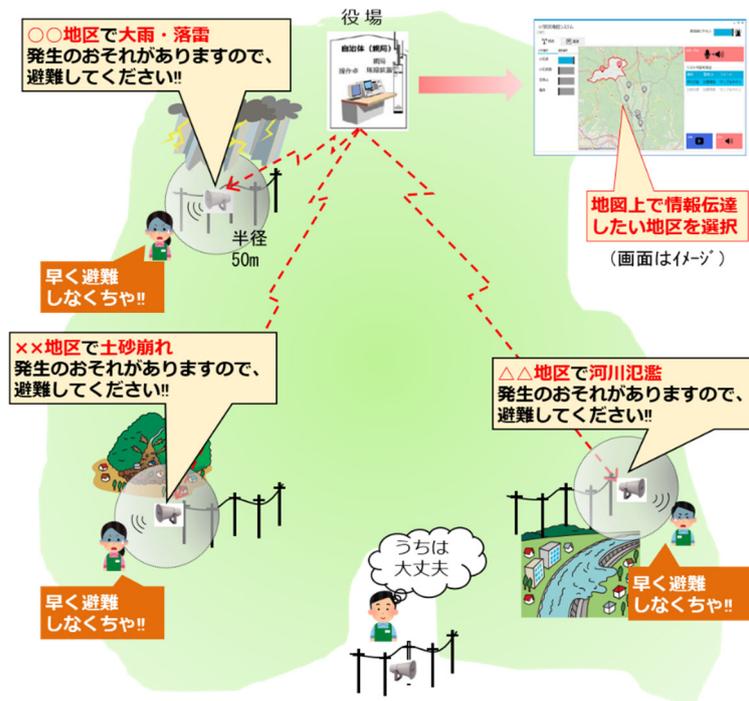


防災情報伝達事業の現地実証イメージ

<現行> 公民館など限られた場所から一斉に避難情報を伝達



<今回の現地実証イメージ> 災害場所に特化した避難情報を最寄りの電柱から伝達



以上